

WalkMeの高度な検索

概要

WalkMeに組み込まれている検索機能を使用すると、ユーザーはフォルダーや利用可能アイテムの詳細を検索することができます。WalkMeの実装内で、利用可能アイテムの取得エレメントデータ、jQuery選択データ、条件データ、ゴールデータ、タグデータ、セグメンテーションデータを検索できます。

使用方法

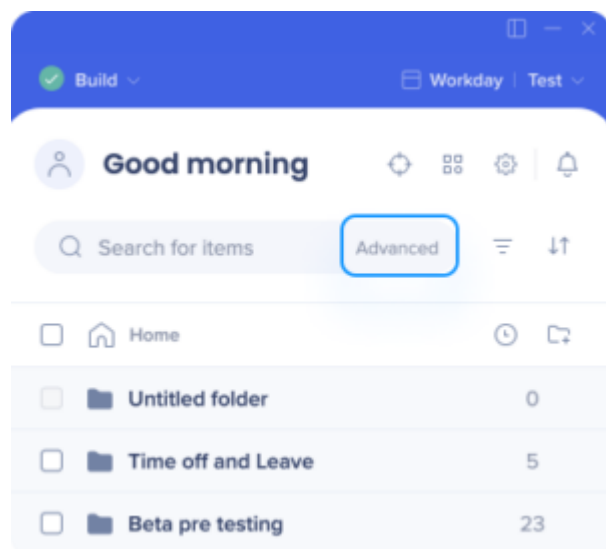
WalkMeの検索機能を使用すると、ユーザーは、Id、class、text、URLなどによるWalkMe実装内のエレメント選択を迅速に検索、更新、維持することが可能です。

さらに、検索したアイテムの文字列値やタイプを実装全体にわたって置換することもできます。

アイテムのエレメントを検索して、Id、Class、Element Text、Host Name、Path URL、jQueryセクター、コンテンツ、または画面上エレメント（キャプチャエレメントモード使用）に置き換えることができます。

有効化

高度な検索モードを起動するには、検索バー内のボタンをクリックします。



注:

WalkMe実装に大量のデプロイ/エレメント選択データが含まれていると、初めて高度な検索を開く場合

に表示されるまで最大10秒かかることがあります。これはEditorデータベースが高度な検索のクライアントに初めてキャッシュしてデータを渡すためです。

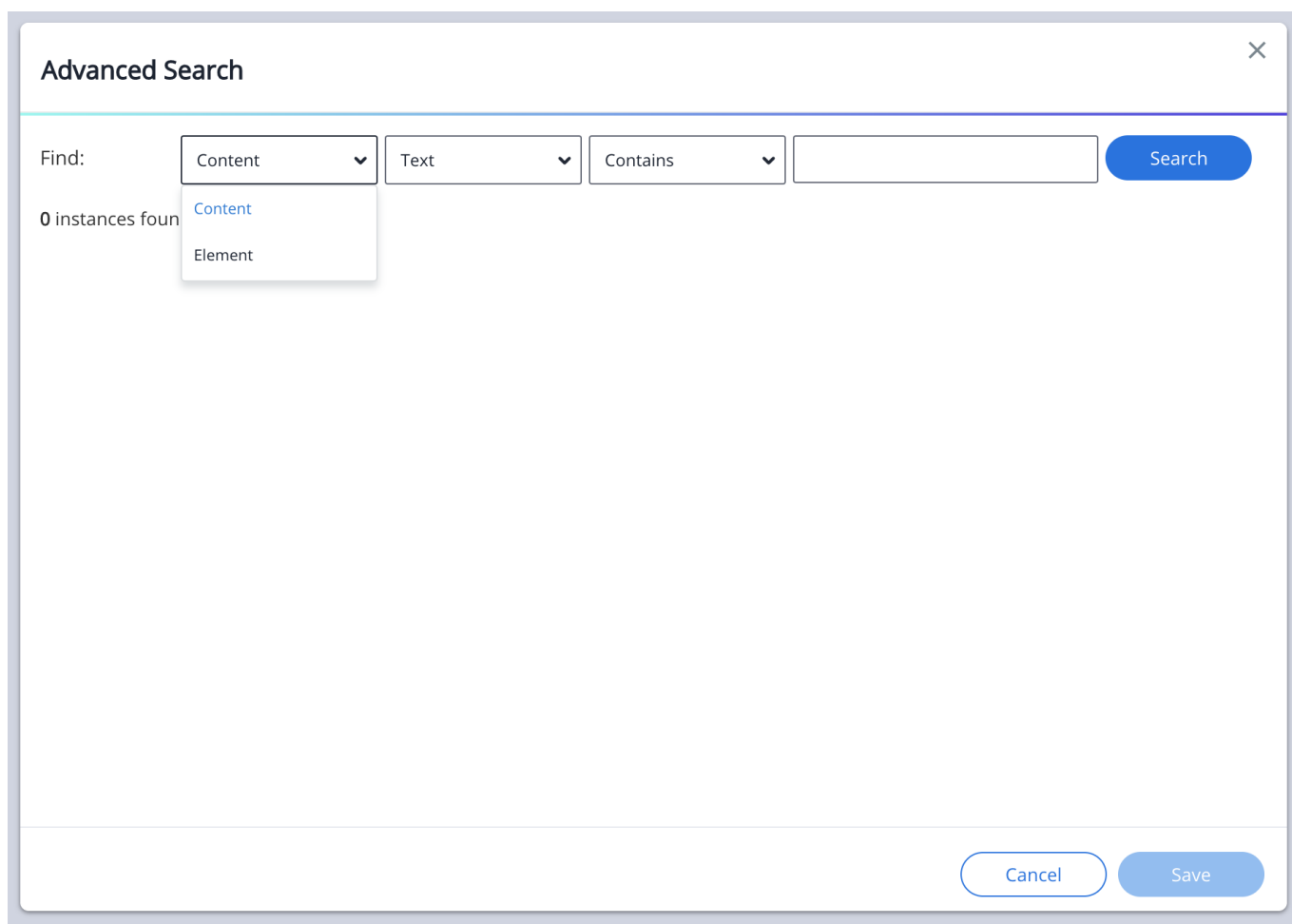
「フィールド」検索の使用方法

高度な検索モードを開いた状態で、次の手順を行います。

まず、コンテキストの説明プロパティのドロップダウン（デフォルトは「コンテンツ」）をクリックします。

1. ドロップダウンリストから、コンテキスト説明プロパティを1つ選択します。

- 内容
 - 利用可能アイテム内のテキストコンテンツを見つける
- エlement
 - キャプチャされたElementを見つける



次に、Elementの説明プロパティのドロップダウンをクリックします。

1. ドロップダウンリストから、エレメント説明プロパティを1つ選択します。
 - エレメントの説明 プロパティのタイプには以下があります。
 1. **テキスト** コンテキストの説明プロパティが「コンテンツ」に設定されている場合、使用できます
 - 利用可能アイテム内でテキストコンテンツを検索する
 2. **Id** コンテキストの説明プロパティが「エレメント」に設定されている場合、使用できます
 - ユニークなHTML Id属性によってエレメントを検索する
 3. **Class** コンテキストの説明プロパティが「エレメント」に設定されている場合、使用できます
 - HTMLクラス属性によってエレメントを検索する
 4. **Element Text** コンテキストの説明プロパティが「エレメント」に設定されている場合、使用できます
 - 目で読み取れる画面上エレメントテキストによってエレメントを検索する
 5. **HostName** コンテキストの説明プロパティが「エレメント」に設定されている場合、使用できます
 - ドメイン（のみ）のURLによってエレメントを検索する
 - ドメイン名は、たとえば「walkme.com」のような、ウェブサイトのユニークな名前です。
 6. **Path URL** コンテキストの説明プロパティが「エレメント」に設定されている場合、使用できます
 1. URLパス（またはステム）によってエレメントを検索する
 1. URLのパス（またはステム）は、Amazon AWSなどのコンピューター、サーバー、またはオンデマンドのクラウドコンピューティングプラットフォーム上にあるファイルのパスに似ています URLホスト名とは混乱しないようにしてください。
 7. **jQueryセレクト** によってエレメントを検索する コンテキストの説明プロパティが「エレメント」に設定されている場合、使用できます
 1. 通常は利用可能アイテムの「選択したエレメント」タブプロパティ内にあります。
 8. **Element on Screen** コンテキストの説明プロパティが「エレメント」に設定されている場合、使用できます
 1. 画面上エレメントの選択モードからエレメントを選択してエレメントを検索します。

Advanced Search

Find:

Content

Text

Contains

Search

0 instances found

Text

Cancel

Save

Advanced Search

Find:

Element

Id

Contains

Search

0 instances found

Id

Class

Element Text

Domain name

Path Url

jQuery Selector

Cancel

Save

次に、条件演算子ドロップダウン（デフォルトは「Contains」をクリックします。

- 「Contains（含む）」条件演算子は、データベース内に類似した文字列を持つ同様の一致文字列パスがある文字列の値をクエリします（Isである）」条件演算子は、データベース内で完全に一致する文字を持つ文字列パスがある文字列の値をクエリします。

例：

文字列の値を探しているとしてします。検索バーに「Onb」と入力すると結果として文字列値「Onboarding level1」が表示されるのは、「**Contains**」が有効になっている場合のみです。ただし、条件演算子が「Is」に設定されている場合、この結果を表示するには「Onboarding level1」という文字列全体を検索バーに入力する必要があります。

次に、目的の文字列値「Id」「Class」「Element Text」「Host Name」または「Path URL」を検索バーの入力ボックスに入力します。

「Search（検索）」をクリックします。

使用方法

高度な検索では、エディターアカウントのデータ(WalkMeデータベース内)をすべてクエリし、ユーザーの選択したコンテキスト演算子+エレメント説明プロパティ+条件演算子+ユーザーの文字列値によって定義されるものに一致した結果が返されます。

高度な検索クエリが完了すると、高度な検索モードによって検索に一致した結果インスタンスの数が表示されます。

高度な検索の結果には、利用可能アイテムのタイプ、名前、およびその中に入れ子にされているすべての利用可能ステップおよびアイテムも表示されます。

Advanced Search

Find:

Content

Text

Contains

Test

Search

Replace with:

Text

Replace

12 instances found | [Clear](#)

Launcher: [Test](#)

☐ Name: Test

Launcher: [Copy of Test](#)

☐ Name: Copy of Test

ShoutOut: [Test](#)

☐ Name: Test

☐ Title: Test

☐ Name: Test

Smart Walk-Thru: [Salesforce Long long name](#)

☐ Name: Test

Smart Walk-Thru: [Test123](#)

Cancel

Save

「置換」の使用方法

高度な検索が完了すると、クエリーの結果と「フィールド」検索セクションの間に「置換」のUIが表示されます。

Advanced Search

×

Find:

Content

Text

Contains

Test

Search

Replace with:

Text

Replace

12 instances found | [Clear](#)

🖱️

Launcher: [Test](#)

☐ Name: Test

🖱️

Launcher: [Copy of Test](#)

☐ Name: Copy of Test

📢

ShoutOut: [Test](#)

☐ Name: Test

☐ Title: Test

☐ Name: Test

🔗

Smart Walk-Thru: [Salesforce Long long name](#)

☐ Name: Test

🔗

Smart Walk-Thru: [Test123](#)

☐

Cancel

Save

次に、エレメント選択データを含む利用可能アイテムの左側にあるチェックボックスを使用して、どのエレメントアイテムの更新が必要かを選択します。

Advanced Search

×

Find:

Content

Text

Contains

Test

Search

Replace with:

Text

Replace

12 instances found | [Clear](#)

🖱️

Launcher: [Test](#)

☒ Name: Test

🖱️

Launcher: [Copy of Test](#)

☒ Name: Copy of Test

📢

ShoutOut: [Test](#)

☐ Name: Test
☐ Title: Test
☐ Name: Test

🔗

Smart Walk-Thru: [Salesforce Long long name](#)

☐ Name: Test

🔗

Smart Walk-Thru: [Test123](#)

Cancel

Save

その後、次のいずれかをクリックします。

1. エレメントの説明プロパティの「置換」ドロップダウン

1. ユーザーは、以下の3つのエレメントの説明プロパティタイプから選択できます。

1. エレメント/エレメントの選択

1. エレメントの選択モードから新しい画面上エレメントを選択してエレメントを置換します。

2. jQueryセレクター

1. エレメントのjQueryセレクターを置換します。

1. 通常は利用可能アイテムの「精度」プロパティタブにあります。

3. エレメントテキスト

1. エレメントの画面上テキスト文字列を使用して、キャプチャしたエレメント選択を、新しい画面上テキスト文字列に置換します。

2. 「jQueryセレクター」または「エレメントテキスト」を選択した場合、次に入力ボックスにjQueryまたはテキストの文字列値を入力します。

Advanced Search

Find:

Element

Element On Screen

Select Element

Search

Replace with:

Element Text

Replace

29 instances found

Condition

jQuery Selector

Condition

Element On Screen

Condition: Element on Screen

Smart Walk-Thru: [Copy of Copy of Adika](#)

Goal

Condition: Element on Screen

Smart Walk-Thru: [AAA fdkgjdfkj lksdfgsklj.sdlkjf sdfkjjsdfk jsdkl](#)

Step #1

Condition

Condition: Element on Screen

Smart Walk-Thru: [SWT 2](#)

Step #1

Cancel

Save

「**Replace**（置換）」をクリックします。

「**Replace**（置換）」をクリックすると、置換されたアイテムは検索リストから削除されます。

注:

「**Replace**（置換）」をクリックした場合、新しい選択または文字列の値は、高度な検索のクライアントにのみ表示されます。新しい選択または文字列値は、高度な検索モード（右下）にある「**Save**（保存）」ボタンをクリックするまで、クライアントからWalkMeデータベースにはプッシュされません。

必要に応じて、利用可能アイテムの横にある「**Play**（再生）ボタン」をクリックすると、エディターのドロワーが最小表示されます。

- デプロイ可能アイテムの要素のキャプチャが置換される前に「**Play**（再生）ボタン」をクリックした場合、元の要素の選択が画面に表示されます。
- 「**Replace**（置換）」ボタンをクリックしてから再生アイコンをクリックすると、利用可能アイテムが新しく置換された要素選択の横か上に画面上で表示されます。

必要に応じて、画像アイコンをクリックするかカーソルを合わせると、ウェブサイト/プラットフォーム/システムの要素キャプチャのスクリーンショットが表示されます。

- 利用可能アイテムの要素キャプチャが置換される前に画像アイコンをクリックするかカーソルを合わせると、元の要素の選択のスクリーンショットが表示されます。
- 「Replace（置換）」ボタンをクリックすると、利用可能アイテムのスクリーンショットが新しく置換された要素選択によって更新されます。

最後に、高度な検索モードの右下にある [Save（保存）] をクリックして、新しく置換された要素選択を確定し、WalkMeデータベースにプッシュすることができます。

ユーザーが高度な検索モードを終了した後、再び高度な検索モードに戻った場合、ユーザーにはキャッシュされた最後の検索が表示され、新しい検索を指定するまで前回の検索を利用することができます。

制限

- ウォークスルーはサポートされていません – 結果は、高度な検索では見つかりません
- ビジュアルデザイナー（ワークステーション/デスクトップ）を使用して構築されたスマートウォークスルーステップはサポートされていません – 結果は、高度な検索では見つかりません
- ビジュアルデザインを使用して構築されたシャウトアウトはサポートされていません

注

検索機能を使用する場合、バルーン自体に表示されているものではなく、テキストボックス内の未加工の正確なテキストを検索します。そのため、テキストのXにのみ太字のコンテンツがある場合は、バルーンの未加工テキストと一致するコードを含める必要があります。例：太字のコンテンツの場合 `[b]X[/b]` または `[bold]X[/bold]`

動画の作成方法

未知の要素の検索方法

ユーザーが知らないユースケースで、要素をそのクラスIDなどで検索することができない場合、あるいは要素が画面上選択モードで選択できなくなっている場合があります。ユーザーはアイテムのプロパティ画面の [Selected Element（選択した要素）] タブに移動して、要素を検索することができます。

[Selected Element（選択した要素）] タブから、高度な検索の虫眼鏡アイコンにカーソルを合わせてクリックします。

< > Click Stop

Step Options ?

×

Interaction

Appearance

Selected Element

Notes

Accessibility

Selected Element ?

Element Grade

Define how to identify the element 🔍

☒ Automatic
 ☐ By text
☐ JQuery selector

Define which attributes to ignore

☐ Text within the Element (for multi language)
 ☐ Element ID (If the ID changes when a page is loaded)
 ☒ Position (If an Element changes location on screen)

Precision Level:

👁 Play

🔄 Re-select element

Cancel

Done

高度な検索の虫眼鏡アイコンをクリックすると、キャプチャしたエレメントの自動検索が開始され、高度な検索モードが開きます。

高度な検索モード内で、ユーザーは、すべてのキャプチャされたエレメントを自動的に検索できます。

ここでは、標準の置換プロセスに従ってエレメントを置換できます。

ヒント

高度な検索を使用した場合、従来のWTは返されません